

小野真人校長(右)に目録と
タブレット端末を手渡した
羽賀健二社長(中央)＝養老
町高田、高田中学校



タブレット 端末を贈る

大垣西濃信金と
藤太が高田中へ

大垣西濃信用金庫は、養老町泉町の食肉卸小売業「藤太」が発行した地域貢献型私募債「絆」を活用し、同町高田の高田中学校にタブレット端末4台を寄贈した。

企業の私募債発行により同金庫が受け取る手数料の一部を使って、企業側が指定した学校や団体に対して物品を寄贈する取り組み。

贈呈式が同校であり、羽賀健二社長が「新型コロナウイルスの影響が広がる中、4月に小売店舗を新築

移転し、オープンすることができた。地元企業として地域の役に立っていきたい」とあいさつ。同金庫養老支店の辻振一郎支店長と共に、小野真人校長に目録とタブレット端末を手渡した。

(岡田敬史)